

平成24年度「子どものための国際理解講座」

海外の日本人学校に派遣されていた4人の教員が、現地の様子を報告する「中央オリンピック夏休み国際理解教室」が、岡山市立中央小学校で、7月30日(月)に開かれました。

- ① 村尾先生(中央小学校) タイ
- ② 浅野先生(三勲小学校) アメリカ
- ③ 岡田先生(旭東中学校) マレーシア
- ④ 橋本先生(高島小学校) ブラジル

の順番で、約2時間の講座になりました。



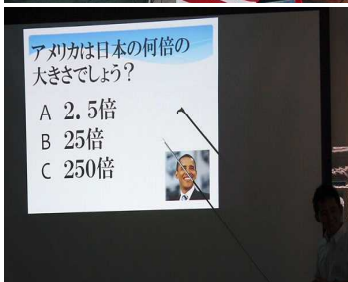
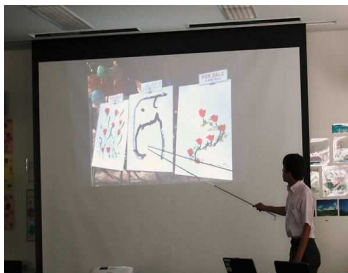
まず始めに、岡山県国際理解教育研究会の鳥居会長が、40人余りの子どもたちと20人ほどの保護者にあいさつをしました。「ここに集まった10人くらいの先生方は、いろいろな国に派遣されていた先生たちです。お話のある4人の先生だけでなく、その他の国についても、ぜひ質問して、みんなが世界の国について興味をもってくれたら嬉しいです。」



さて、1番目の国はタイです。会場校の村尾先生が、話をしました。「今日のためには、『比べる』です。日本とタイは、同じところもありますが、違うところもあります。そこで、なぜ違うのだろうかと考えることが大切になります。では、クイズ形式でいきますよ。第1問。タイと日本の小学校は、どちらが多いでしょう。答えは、タイが31,297校で、日本が23,123校です。(2006年)ちなみに、タイは仏教国で、何と34,431も寺があります。第2問。タイの小学校は、制服でしょうか私服でしょうか。答えは、制服です。それは、華美にならないようにしていることと、学校が制服で分かるようにしているからです。第3問。先生の日・子どもの日・文房具の日、本当はないのはどれでしょう。先生の日は、6月16日に花を贈ります。待ってるよ。こどもの日は、1月の第2土曜日で、鉛筆やノートなどをもらいます。つまり、文房具の日はありません。みんな、しっかりと考えて、手を挙げていますね。この調子で、全問正解をめざしましょう。



平成24年度「子どものための国際理解講座」その2



さて次の問題は、タイの夏休みはいつでしょうか。日本と同じ7月～8月。12月～1月。3月～4月。答えは、3月から4月です。その頃が、タイでは1番暑いからです。ちなみに、ソンクランという祭りがあり、水や氷をかけられます。第5問。タイの学校では、プールはいつあるでしょう。1年中。日本と同じ6月～7月。ない。答えは、ないです。タイの学校にはプールがなくて、子どもたちは、川や海で泳いでいます。さて、次です。スクールショップでは、どれを売っているでしょう。パン。ジュース。お菓子。答えは、全部売っているです。では、タイのコンビニに描かれている、日本の大人気漫画はどれでしょう。ドラえもん。ポケモン。クレヨンしんちゃん。答えは、ドラえもんです。」他にも、村尾先生が担任した1年生は、11クラスあったとか。通学バスが100台あったとか、楽しいお話が聞きました。

休憩時間に、展示物を見ています。

さて、2番目の国はアメリカでした。中央小学校の隣にある三勲小学校の浅野先生が、話をしました。やはり、クイズ形式で盛り上がりました。第1問。アメリカは日本の、だいたい何倍の広さでしょう。2.5倍。25倍。250倍。答えは、25倍です。2時間走っても、ずっと真っ直ぐな1本道がありました。では、アメリカの首都はどこでしょう。テキサス。ニューヨーク。ワシントン。この問題は、ニューヨークと答える子どもが、1番たくさんいました。答えは、ワシントンです。イチローがいた西海岸のシアトルは、ワシントン州にあります。首都は、ワシントンDCで、ニューヨークの近く東海岸にあります。では、この有名人は、アメリカ生まれでしょうか。シュワルツネッカー。アインシュタイン。オバマ大統領のお父さん。答えは、シュワルツネッカーは、オーストラリア出身。アインシュタインは、ドイツ出身。オバマ大統領のお父さんは、ケニア出身です。アメリカは、人種のるつぼと言って、たくさんの国の人々が、一緒に暮らしているのです。

平成24年度「子どものための国際理解講座」その3



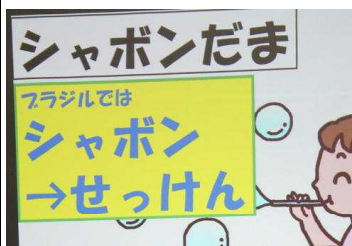
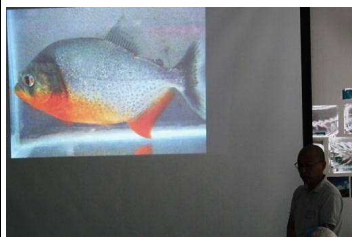
「さて次の問題は、アメリカで見なかった野生動物は、次のうちどれでしょう。鹿。ワニ。バッファロー。猫。答えは、猫です。先生が住んでいたミシガン州は、冬の寒さが厳しくマイナス20度にもなります。ですから、野良猫が住めないのかなあと思いました。では、最後の問題。アメリカにもある店はどれでしょう。吉野家。マクドナルド。回転寿司。答えは、全てあるです。アメリカでは食べ物が大きくて、日本のビッグマックが、アメリカでは一番小さいくらいです。」

他にも、アメリカの学校では参観日や掃除がないことなどを話しました。アメリカには、たくさんの補習授業校があって、月曜日から金曜日まで現地の学校で勉強してきた日本の子どもたちが、日本語で国語や算数を勉強しに土曜日に集まってくるそうです。



さて、3番目の国はマレーシアでした。旭東中学校の岡田先生が、話をしました。イスラム教徒の衣装で登場し、マレー語で挨拶をしました。まず、マレーシアの地図を見ながら、日本のだいたい87%の広さで、ユーラシア大陸の南端の半島と、カリマンタン（ボルネオ）島の、2つに分かれていることを説明しました。マレーシアで有名な動物は、オラウタン・オランウータン・オラハウータンのどれでしょうか。答えは、オランウータンです。オランは人、ウータンは森という意味なのです。マレーシアは常夏の国なので、南国の果物がたくさんあります。果物の王様、ドリアン。女王のマンゴスチン。マンゴやランブータン。もちろんバナナやパイナップルもあります。実の付き方も、興味深いです。マレーシアの特色は、マレー人・中国人・インド人と、いろいろな民族が暮らしていること。常夏の気候。そして、マングローブなど自然の保護と、絶滅が心配されている、オランウータンの保護活動だと思います。

平成24年度「子どものための国際理解講座」その4



さて、最後はブラジルでした。高島小学校の橋本先生が、話をしました。(橋本先生は、3月まで中央小学校に勤めていました。)ブラジルは、日本からちょうど地球の反対側になります。だから、昼と夜は反対です。飛行機では、アメリカで乗り継ぎ、24時間もかかります。面積はとても広くて、日本の22.5倍もあります。アマゾン川が有名で、その流域はジャングルです。生き物もたくさんいます。人間も食べられるかもしれないピラニアやジャガーやアナコンダやカイマンと呼ばれるワニなど。他にも、世界最大のねずみカピバラやアrikui、ピンクイルカなど、珍しい生き物でいっぱいです。町中には、ジャガーやインコの形の公衆電話があります。日本人は、100年も前から移住していて、大変友好的です。ブラジルはコーヒーで有名ですが、日本で売っている濃縮還元100%のオレンジジュースは、ほとんどがブラジルから輸入した物です。サッカーも有名です。ワールドカップの優勝回数は5回で、歴代第1位です。(2位イタリア4回・3位ドイツ3回)また、2年後のワールドカップと、4年後のオリンピックは、ブラジルで開かれます。最後に、ブラジルはポルトガル語ですが、日本でもよく使っている言葉が、たくさんあります。シャボンというのは、ブラジルではせっけんのことです。アミーゴというのは友達のことです。岡山にもそんな名前のお店がありますね。他にも、ボタン・コップ・カップ・ビスケット・パン・タバコ・ブランコなどがあります。

最後に、栗坂副会長のあいさつがありました。栗坂先生は、中央小学校の前教頭でした。

「今日、楽しかった人。たくさんいますね。みんなが一生懸命お話を聞いていたから、先生も心地よい時間を過ごすことができ、とってもうれしかったです。これからも、地球儀や地図を見て、あの先生の話の国だななんて思い出してください。世界に目を向けて、もっともっと世界のことを知ってください。きっと、この中の何人もの人が、大人になって世界でお仕事をしたり、外国の人と一緒に働いたりすることでしょう。」